

# 植物工場・鶏肉鶏卵 及びHACCP研修について考える セミナーin名古屋のご案内

アメリカではロメインレタスがO-157に汚染されたという食中毒事件が起きていますが、そのため清浄度の高い植物工場で栽培した野菜に対する興味が大きく盛り上がってきています。植物工場での衛生管理、その技術的に可能な部分・不可能な部分をつまびらかにし、かつ商業生産設備としての効率をいかに上げていくか、消費地までの距離と生産規模の最適化をどうするか、など皆様の興味の深い植物工場についてのお話、さらに 物価の優等生と呼ばれる鶏肉鶏卵ですが、その裏には交配による絶え間ない生産性向上への努力があります。また生産性をあげながらも、その中でいかに食品安全を担保しているのか、今まで語られなかった生産側の努力を熱く語ってもらいます。

様々な団体によってHACCP研修が運営されていますが、どこも似たような内容と構成になっているようです。そして受講者の理解がどこまで深まったかの検証はほとんどなされていないといってもいいでしょう。当社が全国で運営しているHACCP研修等を振り返り、そこからの学びを将来にいかにかき生かしていくべきかの考察を行います。

## カリキュラム

### 1.植物工場の課題(13:30-14:40) 岡安 晃一(菱熱工業(株))

植物工場の商業設備としての採算性の話題、食品安全についての知見について語ってもらいます。

### 2.鶏肉鶏卵(14:50-16:00) 永津 一博(株ヤマショウフーズ)

鶏肉鶏卵の安さの秘密、その裏にある生産性向上への不断の努力、また、いかに食品安全が担保されているのかについて語ってもらいます。

### 3.HACCP研修のあるべき姿: 広田 鉄磨(関西大学 化学生命工学部) (16:10-17:40) 末野 広志(食品品質プロフェッショナルズ)

日本全体を見渡してみても HACCP教育の課題点について論評します。また、実際に運営したHACCP研修からの具体的な学びについて共有します。

## <研修日時>

平成30年12月1日(土) 13:30-17:40 (受付開始 13:10)

## <主催・研修会場・お問合せ>

### 株式会社 環境科学研究所 食品分析センター

〒462-0006名古屋市中区若鶴町152番地

【TEL】052-902-4456 【FAX】052-902-4601

### 【自動車の場合(無料駐車場完備)】

国道41号と国道302号(名古屋環状2号線)の交差点を東へ約200m最初の信号を左折(北へ)30m進むと右側(東側)に当社がございます。

(※)十分な駐車スペースがあります。

### 【公共交通機関の場合】

○名古屋駅ー栄ー黒川ー如意車庫のルート

名古屋駅より地下鉄東山線「栄」経由で地下鉄名城線「黒川」下車(15分)。

「黒川」より市バス(乗場1番:黒川11系統)で「如意車庫前」下車(15分)。

「如意車庫前」より徒歩10分。

○名古屋駅ー如意車庫のルート

名古屋駅より市バス(乗場7番:名駅12系統)で「如意車庫前」下車(47分)。

「如意車庫前」より徒歩10分。



## <受講料区分>

一般:3,000円、食品品質プロフェッショナルズ会員:1,500円、通学型HACCPセミナー責任者コース受講の方:無料

## 【セミナー申込方法】

下記アドレスに**件名**及び下記①から⑥を記入し、ご送信ください。

メールアドレス: [food@kankyokagaku.com](mailto:food@kankyokagaku.com) 件名: 植物工場・鶏肉鶏卵・HACCPセミナー申し込み

①ご氏名(フリガナ) ②返信用メールアドレス ③電話番号 ④受講料区分 ⑤ご職業 ⑥所属事業所・部署名